あかびら
市議会

KA かわ WA RA ら BAN 版

今年は赤平市制６０周年です！

2014.07.01
No.29

７月の花「蓮（ハス）」
花言葉：清らかな心

6月定例会の主な議題

第2回定例会は、6月9日から12日までの4日間の日程で開催され、定住自立圏形成協定の締結や補正予算など議案8件、報告2件、意見書案7件を原案可決し閉会しました。
また、11･12日の2日間にわたり一般質問を行い、6名の議員が次のとおり質問しました。

(質問･答弁の内容は、質問順で構成され、簡略化されています。)

民主クラブ

太田　常美

【質問】人口減少対策について
市外地域からの移住対策として、赤平市は新規施策を含め様々な事業展開をしているが、市の取組みにも限界があり、広域的な取組みも必要ではないか。

【答弁】赤平市単独の施策を継続的に進めると同時に今後は中空知管内における定住自立圏の形成協定を機に共生ビジョンの協議の場を通じ、具体的な施策を検討し、中空知圏域全体が移住定住を促進できるよう連携強化に努めていく。

【質問】遊具の安全性について
今年4月、札幌市で小学生が鉄棒で遊んでいたところ、鉄棒のバーが外れ、大ケガをしたと新聞等で報道されていた。市内で遊具が設置されている公園が何箇所あるのか。また、公園や学校等の遊具の安全管理はどのようになっているのか。

【答弁】市内には建設課管理の公園が64箇所。そのうち遊具が設置されている公園は34箇所あり、職員による日常点検を月に一度行っている。また、専門業者に年1回春先に安全基準に基づいた点検も行っている。平成23年度から25年度には13箇所の公園遊具を更新してきた。幼稚園・保育所の遊具の安全性については職員や係員がそばにいて使用する時は見守っている。学校についても学校や教育委員会が安全確認している。

新政クラブ

植村　真美

【質問】さらなる市外との連携について
赤平応援組織の拡大について、東京赤平会以外にも例えば、札幌にも赤平会を設置するなどの考えはないのか。

【答弁】市の近況報告と誘致企業の情報の提供という点では、同じ道内であるので、今のところ、市として設立を働きかける必要性は考えていないが、札幌圏に在住する赤平出身者が集い、会を設立するのであれば、市としても協力する。

【質問】新たな友好都市の設置について
今の友好都市として、石川県加賀市、韓国一都市、中国に一都市と三都市あるが、近年つながりがなく、今後のまちづくり活性化を鑑み、新たな文化・人財・観光・教育・技術交流などを視野に入れた、新たな友好都市の可能性を探れないか。

【答弁】これまでの経過と同様、企業や民間、団体等により、相手方と何らかの深い関係性を持つきっかけやその経過で、様々な分野への連携効果が期待でき、住民等の機運が高まった段階で、経済や文化・教育等を含め、友好都市締結について慎重に検討する。

【質問】歴史文化保存について
旧住友小学校に併設されている歴史資料館が小学校の廃校に伴い、市民が自由に見学できない状況をどう考えるか。

【答弁】産業を継承する重要な施設と考えていることから、常設展示ができる代替施設を選定し、早期の開催を目指す。

【質問】市制60周年を祝う環境づくりについて
市内各所に装飾をし、市民や通りすがりの方々に節目の年を迎えたことをさらに周知しては。

【答弁】事業のポスターやチラシなどに60周年記念の冠をつけPRしている他、庁舎に立て看板を設置するなどできる範囲で行う。

← 他の質問内容は中表紙に続く。

議会の動き

4月

4/ 8　議会改革検討協議会
4/30　行政常任委員会
　・社会資本整備総合交付金の減額について
　・市道豊通の道道昇格等について

5月

5/13　議会運営委員会
5/16　第2回臨時会
　議会改革検討協議会
5/23　行政常任委員会
　・市立赤平総合病院の経理状況(2･3･4月分)について
　・定住自立圏形成協定について
　・し尿等共同処理事業(MICS事業)について

6月

6/ 4　議会運営委員会
6/ 9　議会運営委員会
6/ 9　第2回定例会（～12日）
6/10　行政常任委員会
　・赤平市国民健康保険条例の一部改正について
　・定住自立圏形成協定の締結について
　・赤平市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について
6/16　議会改革検討協議会
6/19　議会報告と意見交換会（～27日　市内12会場）
6/26　行政常任委員会

○　第2回臨時会が5月16日開催されました。主な議案は「平成26年度赤平市一般会計補正予算」として都市間高速バス停留所設置負担金を原案可決としました。
（写真：文京町バス停留所の様子）

○　固定資産評価審査委員会委員
六 田 孝 男氏 同意しました。

○　6月9日定例会前に全国市議会議長会表彰状の伝達式が行われました。
議員在職15年以上
若山　武信　議長　・　獅畑　輝明　議員

編集後記

赤平の夏も到来！小鳥のさえずりとともに気持ちいい青空が顔を出してくれていますね！路上には各団体・町内会が植樹してくれた花たちが今か今かときれいに咲く準備をしています！７月は、赤平の一大イベント火まつりが開催されますね！今年は、市制６０周年を祝い５０００発の花火が見られますよ！家族や友だちと一緒にいい夏の日が迎えられますよ～に～・・・☆

かわら版編集委員会 植村・五十嵐・向井・竹村

このかわら版のお問合せは、赤平市議会かわら版編集委員会TEL 0125-32-1858までお願いいたします。

また、これまでのかわら版は、赤平市議会ホームページでご覧いただけます☆
赤平市議会　検索

民主クラブ

向井　義擴

【質問】定員適正化計画について
今までは行財政計画の達成に重点をおいていたが、ようやく財政計画を上回って達成された今、市民サービスや給与の減額も緩和され、新規採用もしてきているが、これからは職員数やあり方についても考えるべきではないか。

【答弁】定員適正化計画については、国の通知で平成17年から平成22年までの5年間の数値目標を掲げ策定したものである。策定後、度重なる財政危機の回避や病院経営健全化のため、一般職の退職者不補充、部制の廃止、公共施設の統廃合などによる組織機構の見直し、早期退職の実施等により、計画を大幅に上回った。こうした職員数の削減により一人当たりの事務量は増加したが、住民サービスの低下を招かぬよう努めてきたところである。

平成22年度から事務事業の増加や退職者の補充などのため、一般職員の採用も再開しており、今後において事務事業量にあった適切な職員数の管理に努めて参りたい。

【質問】定住自立圏について
広域の中空知を一つと考える五市五町全体での話し合いなどはどのようになっているのか。

【答弁】中空知五市五町の民間や地域の構成員で圏域共生ビジョン懇談会が設置されるほか、行政機関においても、首長を構成員とする「定住自立圏推進会議」、企画担当課長を構成員とする「定住自立圏幹事会」が設置され、それぞれの組織が並行して協議に臨み、最終的な素案がまとまった段階で、中空知の住民を対象としたパブリックコメントなども予定している。

公明党

五十嵐美知

【質問】自主財源と標準税率の考え方について
現在、当市では、自主財源である軽自動車税・固定資産税・都市計画税において、超過税を採用しているが、軽自動車税は財政再建に取り組む中で値上げしてきた経過はあるが、財政の落ち着きとともに、標準税率の1・0%に戻す考えについて伺いたい。更に固定資産税は現在1・45%で、超過税を採用しているが、道内35市の内26市が1・4%の標準税率で、都市計画税では、0・3%の超過税率を採用している市が多数を占めているが、固定資産税・都市計画税を合わせて1・7%を26市が採用している現状から税の格差解消について考えを伺う。

【答弁】国の地方税等の一部を改正する法律が施行され、平成27年4月1日から軽自動車税は現行の標準税率1・25倍から1・5倍となることから、住民負担が増えるので平成27年度に向けて、軽自動車税の税率を標準税率に改正することを検討していく。固定資産税・都市計画税については、標準税率にするための努力は必要だが、中期的な財政見通しの中では、現行の税率を継続せざるを得ないと考える。

【質問】胃がん撲滅の取り組みについて
国内では胃がんで亡くなる方が年間5万人に達している。ピロリ菌は胃の粘膜に生息する細菌で慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、胃がんの原因の99%を占めるとされており、胃酸が十分に出ない乳幼児期に井戸水を飲むなどして感染し、その親からの口移しなどで二次感染する可能性が高いと言われている事から、中学生対象のピロリ菌検査は、将来の胃がん撲滅に期待できると思うが考えを伺う。

【答弁】本年度、美幌町が中学生対象に尿や呼気によるピロリ菌検査を実施し、感染者には除菌を行うことを予定しているが当市では、ピロリ菌の除菌効果と除菌時のリスク等を検証し、検診実施機関と協議しながら検討していく。

新政クラブ

菊島　好孝

【質問】人口減少対策について
①第三子からの経済支援について、国は「骨太の方針」の中で「第三子以降の出産・育児・教育」を重点支援していくことを発表した。赤平市においても第三子に150万円、第4子に200万円の助成を平成27年度から予定されている「子ども・子育て支援事業計画」の策定の中に取り入れることはできないか。

【答弁】国の方針を十分に踏まえた上で、当市としての施策を検討していく。

②若者定住人口の増加を図るために、民間賃貸住宅家賃助成事業の対象外となっている民間一戸建て住宅も助成の対象にならないか。

【答弁】民間賃貸一戸建て住宅についてもできるだけ早期に実施できるようにする。

【質問】部長職の復活について
市役所内の横の連携がとりにくくなっているように思う。職員の質的向上と市民サービス、課の連携をアップするためにも現在の人員の中で部制を復活してはどうか。

【答弁】今のところ課ごとの連携を強化し、一定の専門性を確保できるよう配慮して市民サービスの向上に努めたい。

【質問】「住民の声」の共有について
市民の声を行政としてはどのように職員全体にこの情報を共有させ問題解決に取り組んでいるか。

【答弁】ネットワーク上の掲示板に載せ、職員一人一人が情報の共有に努め、市民の方が一つの窓口で用件を済ませるように努める。

【質問】次なる小・中学校の統合について
子供達の急激な減少の中、小・中一貫教育も含めた10年・20年先の赤平市の小中学校の統合は。

【答弁】児童、生徒の状況を注視し、計画途中での変更も視野に取り組んでいきたい。小・中一貫の教育についても様々な実施形態があるので検討しながら進めていく。

新政クラブ

竹村　恵一

【質問】エルム高原の更なる集客について
彫刻公園に更に足を運ぶ流れを市内小中学校などを含めて、市、市教委上げて盛り上げていくべきでは。

【答弁】今後の活用は、10体の彫刻が完成したのでパンフレットの作成や観光協会のホームページでPR、情報発信していきたい。子供達を対象にした事業を振興公社が予定しているが、振興公社、市、市教委共に連携して検討していきたい。

【質問】歴史・文化遺産の伝承について
住吉獅子舞の伝承と60周年式典への展示公開について、市としての考え方は。

【答弁】獅子舞については赤平高校で伝承に取り組んでいたが、生徒数の減少により中止、NPO支援センターを中心に伝承の支援を試みたが上手くいかず、住吉獅子舞保存会も高齢の為、活動が難しい状況で道具の保存という継承をしていく。

60周年記念式典への展示については、舞の披露は舞手高齢のため難しいと考えるも、住吉獅子舞保存会に相談し協力・助言をもらいながら展示公開ができるよう、式典担当の総務課とも協議し進めていきたい。

【質問】文化施設の考え方について
文化会館閉鎖後、各種イベントなどは、みらい「かたらいホール」で行われているが、手狭に感じる。400～500人程度の中規模施設の整備はできないか。

【答弁】文化ホール建設については市民、文化団体からの要望もある。病院・消防庁舎建設、学校統合校舎整備も必要なことから今後の検討課題であるも、市教委としても必要性は十分感じている。

☆意見書 7件可決☆

①総合的、体系的若者雇用対策を求める意見書

②鳥獣の捕獲促進体制強化の速やかな実施を求める意見書

③中小企業の事業環境の改善を求める意見書

④地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

⑤「手話言語法（仮称）」の制定を求める意見書

⑥平成26年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

⑦地方財政の充実・強化を求める意見書

6月19日から27日まで市内12会場で開催した議会報告会には、多くの皆さんにご参加いただきましてありがとうございました。
今回の報告会の結果は、かわら版及び赤平市議会ホームページで公開していきます！^^！

議会改革の経過と今後の対応

議会改革検討協議会会長　北市　勲

議会改革検討協議会では、昨年の議会報告会以降、「議会報告会のあり方」「議員定数」「議員報酬」並びに「議会基本条例」「反問権」「通年議会」等、全国の各議会で議論されている様々な案件について、当市議会でも議論を重ねております。

現在までの協議結果についてですが、議会報告会のあり方については、過去２回の実績や市民の皆さんからのご意見等を参考にし、「意見交換」に重点を置く。議員定数については、人口規模や議員活動の現状などを考慮し、今秋には再度検討をする。議員報酬については、赤平市特別職報酬等審議会の答申に沿う。

議会基本条例・反問権・通年議会については、現時点での導入は時期早尚であり、今後の検討課題とする。以上が今日までに出された結論です。

また、その議会改革の一環として、過日実施をいたしました「議会報告と意見交換会」には、多くの市民の皆さんのご参加を賜り、大変ありがとうございました。

皆さんからいただきました貴重なご意見・ご要望につきましては、市政に反映できるよう努力をして参ります。

最後になりますが、今後も更なる議会改革を進め、市民の皆さんの負託に応えて参りますので、これからも当市議会に対しまして、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。